【東京本社】港区東新橋２-６-６ 汐留ＡＺビル６Ｆ ☎03 - 5733 - 2740
【水戸総局】水戸市南町２-５-24 榎沢本店ビル ☎029 - 227 - 4551
【宇都宮総局】宇都宮市本町９-12 亀田ビル３Ｆ ☎028 - 622 - 8111
【仙台総局】仙台市青葉区上杉１-６-10 仙台北辰ビル ☎022 - 221 - 9211
ホームページアドレス：http//www.jcpress.co.jp
メールアドレス：jcp-chiba@jcpress.co.jp

全県版

©日本建設新聞社（令和２年）（昭和41年11月16日 第３種郵便物認可）
日刊（日、月、祝日休刊）

日刊建設新聞
The Nikkan Kensetsu Shim

総合資格学院 合格祝賀会

総合資格

今年も高い占有率確保

建築士ら合格者の祝賀会

山本本部長

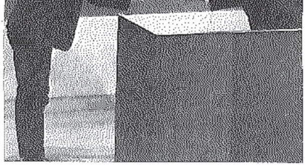
総合資格（総合資格学院、岸隆司学院長）は24日、2019年の「千葉県合同合格祝賀会」を、船橋市のクロスウェーブ船橋で開いた。同学院で鍛えられ、晴れて試験に合格した受講者は、講師やスタッフ、来賓らとともに、1級・2級建築士試験などの難関を突破、国家資格者となる喜びを共有していた。

19年における本県での1級建築士試験の学科と製図を合わせた同学院受講者の、いわゆる「ストレート合格者」は、96人中69人で、占有率は71・9％に達し、今年も高い合格者占有率を保った。

また、1級建築士試験全体の占有率をみても、178人中120人が合格、67・4％に達するなど、同学院受講生の占有率1位を8年連続でキープしている。

祝賀会当日は、同学院の船橋校、千葉校、成田校、柏校で講座を受講した合格者に対し、千葉本部の山本聡本部長が、それぞれの努力をねぎらいながら、資格者となった出席者のこれからの活躍を祈るとし「ハイレベルなスキルと高い倫理観を持つ技術者の育成」を理念に、講師と受講者の対面指導を主とする同学院のシステムが高い結果を生み出していることが、実績にこだわった成果だとした上で、合格者らに今後それぞれの分野での活躍を祈るとした。

続けて講師からは依田充講師が祝辞。本県では今回、台風で試験日程が2カ月先送りされるなど、モチベーションの維持が課題になったことにも触れながら、採点に当たって課題となった法規の順守に当たってあらためて注意を呼び掛けた。


合格者代表の柳澤さん（左）に修了証

続けて、合格者を代表して登壇した柳澤孝彦さんに修了証が授与されると、柳澤さんは担当講師の「何が何でも合格させる」という気概に圧倒されたとしながら、身内の不幸などさまざまなことを乗り越えて、志を同じくする仲間と一緒に学べたとし、今後は社会にも思いを実現するなど貢献していきたいと力強く述べた。

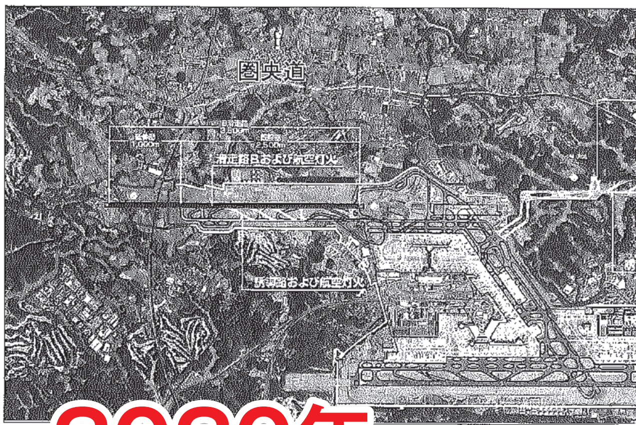
来賓からは、県建築士会の秋元卓哉常務理事、県建築士事務所協会の宍倉義昭副会長、日本建築家協会千葉地域会（JIA千葉）の森田敬介副代表、日本建築構造技術者協会JSCA千葉の佐藤暢彦副代表らが順番にあいさつ。新たに国家資格者に加わった合格者にエールを贈り、各人の洋々たる前途を応援しながら、スキルアップとともに、各団体への入会にも期待を込めていた。

出席者で合格を祝し乾杯

この後、参加者全員で記念写真を撮影。会場を移して開かれた祝賀会は、野崎毅彦講師の音頭による乾杯で和やかな会食と歓談に移り、合格者は講師やスタッフ、同志らと晴れて合格した喜びを分かち合った。

用地取得に向けた現地調査については、調査場所が森林の場合、木の伐採を伴うとしており、用地を取得した筆ごとに土地を測量し、立ち会いによる境界確定を進める、いわゆる「地籍調査」も進める考えでいる。

整備計画の具体化に向けてはまた、設計作業の一環として、土質調査や測量調査を実施するとともに、その調査の進ちょくなどに併せ、猛禽類の営巣環境の整備や、重要な植物の移植などといった、環境保全措置に関わ



2020年
2月26日
日刊建設新聞
（千葉会場）

習志

公共建築物の再生計画案

習志野市資産管[illegible]している。第2次となる公共[illegible]は、現公共再生計画の案をま[illegible]の目的や目2018[illegible]針などといっ[illegible]考え方は継承。[illegible]地区土地区画[illegible]（仮称）など、[illegible]があること[illegible]に適宜見直し[illegible]している。[illegible]対策の基本的な[illegible]、将来確実に人口が減少することに対し、過剰となる公共施設を適切に減らしていく[illegible]パブリックコメント手続きにより意見を募集

ことを原則とする。

6年ごとに見直すとした同計画の対象施設は、今年4月時点で116施設、総延床面積は34万9609㎡に及ぶとした。

案ではまた、現在の第1期計画の実施状況に言及。「おおむね計画通り実施」、「一部実施」を合わせて64％に留まったとし、理由として想定以上の改修箇所やその内容への対応が必要になったことや、労務単価・資材の高騰が影響したなどとし、今後の課題として挙げている。

今回の見直しでは単価などを改定するとともに、既存資料の活用や目視による点検で、各施設の棟ごとに建物の劣化状況を評価するとともに、構造躯体の健全性を調査。屋根や屋上、外壁は目視で、内部仕上げや電気・機械設備は経過年数を基本にそれぞれ4段階に分類した。さらに「長寿命化改修」を新たに工事種別と

目的に▽総量圧縮▽財源確保▽長寿命化――といった3つの手段を活用するとし、公共建築物が適正に維持され、その床面積の削減や長寿命化改修

導入し、事後保全から予防保全に転換、長寿命化とライフサイクルコスト（LCC）の低減を図る。

計画の中で計画期間中に、着手済みのものを除

小学校▽神
▽東習志野
中学校▽習
年築以前）
ンター▽東
▽東習志野

イベントの中止相次

公的機関がウイルス

本県を含め、公的機関による、多くの人が集まるイベントの中止または延期が相次いでいる。新型コロナウイルスの拡大防止に伴うもので、県内のマラソン大会など大型のイベントに加え、県土整備部でも25日、木更津市内で3月15日に開催

た、第2回
ちづくりシ
の延期を決
程について
安全が確保
が整った段
めて通知す
いる。
本県では
陽性と判断
県内で11例
事について
市で開催
整備が計画
64号北千
市～船橋市
縦覧中の環
準備書の内
るための準
が、今月23
ていた船橋
をはじめ、
ケ谷市）ま
スケジュー
とした。
直近では
葉市総合保
ーや成田空
7日に開催